

平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 57 回放射線管理研修会) のお知らせ (3)

平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会は関東支部が中心となって、鎌倉市で年次大会を開催いたします。今回の年次大会は「いいね鎌倉—主任者よ立ち上がれ—」というテーマとしました。

本年は、元素周期表に初めて日本発の元素が加わるという明るいニュースがありました。一方で放射線・放射能の利用が減少するなか、放射線管理の現場には世代交代の波が押し寄せてきています。多くの若者に放射線・放射能の有効利用や放射線管理に興味を持ってもらうよう、将来を担う若い世代からの発表を随所にちりばめております。また、日頃の放射線管理の中で感じている疑問やその原因を探索し、解決思考的なアプローチで新たな提案をしたいという思いをこめ「私の意見・支部の意見」という新しい企画も取り入れました。皆様の参加によって活気あふれる大会にしたいと思っております。

本大会のプログラムには、原子力規制庁核物質・放射線総括審議官による「放射線安全管理行政の動向」特別講演をはじめ、IAEA 安全基準文書において重要事項とされている「放射線利用の品質保証制度導入にむけて」のシンポジウムを、一般公開では多くの方々に参加してもらえよう、「高校生による放射線研究発表」を参加高校 4 校による特別セッションを、日本発、アジア初の「113 番新元素（ニホニウム）の発見」について理化学研究所仁科加速器研究センターの森本幸司氏に特別講演を、さらに「最先端のガン治療と研究」について東京大学医学部附属病院の中川恵一氏のグループによるシンポジウムを開催いたします。

年次大会の概要

○開催日：平成 28 年 11 月 10 日(木)、11 日(金)

○会場：鎌倉芸術館

鎌倉市大船六丁目 1-2

(JR 大船駅東口より徒歩約 10 分)

○テーマ：いいね鎌倉—主任者よ立ち上がれ—

8 月中旬より事前参加登録を開始しております。詳細はホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) をご確認ください。事前参加登録の締切日は 10 月 13 日(木)です。

さらに多くの参加者を募るため、学生会員の参加費を設定しました。ただし、学生会員の登録は事前のみとなっております。非会員の学生は、入会金として別途 1,000 円を申し受けます。

参加費		事前登録	当日登録
年次大会	・一般	6,000 円	7,000 円
	・学生	2,000 円	—
交流会	・一般	5,000 円	6,000 円
	・学生	2,000 円	—

○会場情報

小ホールを、部会総会、特別講演、シンポジウムを開催するメイン会場とし、ポスター発表、機器展示をギャラリーで行い、相談コーナーを小ホールホワイエに設置いたします。参加受付は小ホール入口で行います。また、クロークはギャラリー入口脇の控室に、休憩室は会議室 1 に設置いたしますのでご利用ください。交流会は集会室にて開催いたします。

プログラムのハイライト

【1 日目】

特別講演 I 「放射線安全管理行政の動向」

(11 月 10 日 13:30~14:30)

片山 啓氏 (原子力規制庁 核物質・放射線総括審議官)

主任者 コーナー

本大会では、原子力規制庁の核物質・放射線総括審議官をお招きして放射線安全管理行政の動向について解説していただきます。法令改正の検討状況などの最新情報もお話しいただく予定です。是非、楽しみにして下さい。

シンポジウムⅠ「放射線利用の品質保証制度導入にむけて」～放射線施設における安全文化の醸成に関するこれからの活動について意見交換しよう～
(11月10日 16:00～17:30)

現在、安全文化・品質保証制度の法令への取り入れに向けた調査を日本アイソトープ協会が受託していることから、その概要と中間報告を行います。また、規制当局での検討状況についてご紹介いただき、パネル討論を行います。これからの放射線安全管理にとって避けては通れない問題として迫ってきます。「放射線施設における安全文化の醸成に関するこれからの活動について意見交換しよう」というサブタイトルのとおり、積極的な討論へのご参加を期待しております。

(1) 現状調査活動の概要

二ツ川章二氏 (日本アイソトープ協会)

(2) 国内外施設の状況 (中間報告)

飯本武志氏 (東京大学)

(3) 規制当局における検討状況

土居亮介氏 (原子力規制庁)

(4) パネル討論

【2日目】

特別セッション「高校生による放射線研究発表」

(一般公開) (11月11日 9:30～10:40)

東京都立多摩科学技術高校

埼玉県立不動岡高校

早稲田大学高等学院

福島県立福島高校

近年盛んになって来ました高校生の科学研究は、文部科学省の方針も相俟って研究課題として社会問題解決型が多いのも特徴です。本セッションでは、各地で行なわれております高校生による放射線研究を高校生自ら発表して貰います。高校生の意欲や技

術的な問題点など注目すべき点はたくさんありますが、まずは聞いて、見て、交流して下さい。

特別講演Ⅱ「113番新元素(ニホニウム)の発見」

(一般公開) (11月11日 10:50～11:50)

森本幸司氏 (理化学研究所仁科加速器研究センター)

理化学研究所において合成された113番元素について、正式に新元素であると認定され命名権が与えられました。研究グループは元素名として“Nihonium”，元素記号として“Nh”を提案しました。今後、日本が命名した初めての元素として元素周期表に永遠に記載されることとなります。本講演では、113番元素の合成に使用した装置や観測の結果を分かりやすく説明して頂きます。また、さらなる新元素の探索計画についてもご紹介していただく予定です。

シンポジウムⅡ「最先端のガン治療と研究」

(一般公開) (11月11日 13:00～14:40)

一般の方にはあまり知られていない放射線とがんとの関連や、放射線生物学研究の最前線の内容をお伝えします。また放射線についてのリスクコミュニケーションの現状や、放射線治療についてご紹介頂く予定です。

宮川 隆氏 (東京大学医学部附属病院)

玉利祐樹氏 (東京大学医学部附属病院)

中川恵一氏 (東京大学医学部附属病院)

ポスター発表 (ギャラリー1, 2)

ポスター発表は、発表者と皆様が直接交流できる場です。多くの方に参加いただき活発な討論や情報交換をしていただけたらと思います。今回のポスター発表は、広いスペースを確保いたしましたので、奇数・偶数の時間割りなく一度に行います。

ポスター掲示: 11月10日 12:00

～11月11日 12:00

ポスター発表時間: 11月10日 14:40～15:50

相談コーナー（小ホールホワイエ）

11月10日 12:00～13:30

日頃、放射線管理業務で疑問に思っていることや困りごとなどについて、相談をお受けいたします。相談員は法令検討専門委員会や全国の支部委員の皆さんに相談員を務めていただき、放射線管理・取扱、法令、RI供給・廃棄、病院関係など幅広く相談をお受けいたします。

私の意見・支部の意見

11月11日 14:50～15:10

今回初めて新設したコーナーです。皆さんの日頃の放射線管理業務の中で、疑問に思っていたことの原因を探索し、解決策や考えていることを提案・発表していただくことで、今後の放射線管理や放射線利用をしやすい環境作り、法整備に対する要望などへの解決思考的なアプローチをしたいと考えています。発表を希望される方は、ホームページ (<http://www.jrias.or.jp/seminar/cat5/703.html>) をご覧の上、応募フォームに必要事項を記入いただき、事務局にE-mailで送信してください。

機器展示（ギャラリー1, 2）

11月10日 10:30～17:30

11月11日 9:10～14:00

放射線関連サービス会社・製品メーカーによる展示があります。時間の許す限りお気軽にお立ち寄りご覧ください。

書籍コーナー（小ホールホワイエ）

11月10日 10:30～17:00

11月11日 10:00～14:00

日本アイソトープ協会出版の書籍展示があります。

交流会（集会室）

11月10日 18:00～20:00 交流会

年次大会と同じ建物の3階集会室にて交流会を開催いたします。天候に左右されず、ホールから徒歩2分で到着する会場では、ご参加の皆さんの交流を深める絶好の機会です。ご参加いただいた方に楽し

んでいただけるよう企画を考えております。多くの方のご参加をお待ちいたしております。

【鎌倉のご案内】

いつも多くの観光客でにぎわう鎌倉は、見所が沢山あります。自然の風景の中に鎌倉大仏、建長寺、長谷寺などの歴史的建造物があちらこちらに点在しています。鶴岡八幡宮の参道沿いには小粋なお店が沢山あり、美味しいスイーツや銘菓、カフェ、食事処、土産物屋など、色々楽しめます。少し長めの行程でお越し頂き、神社・仏閣などを巡ってみたり、由比ヶ浜のやさしい海風に吹かれて、のんびりと海岸沿いを散策したり、美味しいものを食べ歩きしたりしながら、五感を刺激してみたいかがでしょうか。自然と歴史が融和した古都鎌倉を是非楽しんでください。また、鎌倉芸術館付近は、かつて松竹大船撮影所がありました。小津安二郎監督作品や山田洋次監督作品の寅さんでおなじみの「男はつらいよ」シリーズなど当時の現代作品はこの地で撮影されています。このため、周辺の喫茶店や食事のとれるお店は映画関係者が足しげく通ったお店も多いとか。昼食時間などに利用してはいかがでしょう。

【会場のご案内】

会場となる「鎌倉芸術館」は中世の文化都市である鎌倉の北に位置しており、美しい緑に囲まれた近代的な文化施設です。最寄り駅はJR大船駅となります。会場への交通案内はアクセスをご覧ください。ちなみに、大船駅から鎌倉駅までは約7分です。

最近では海外からの旅行客の増加で宿泊場所の確保が難しい時期もありますので、宿泊ホテルのお手配を早めに済ませておくことをお勧めいたします。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会 学術課

☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

☎03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 57 回放射線管理研修会）

期 日：平成 28 年 11 月 10 日（木）10:40～11 日（金）15:30

会 場：鎌倉芸術館（神奈川県鎌倉市大船 6 丁目 1-2）（JR 大船駅より徒歩 10 分）

TEL：0467-48-5500（9:00～22:00）

交流会：鎌倉芸術館 3 階 集会室

年次大会プログラム

○ 1 日目 11 月 10 日（木）

時 間	小ホール	ギャラリー
9:30～ 10:10～ 10:40～11:40 (60)	参加受付（ホール） 開場 開会・部会総会	クローク 9:30～20:30
11:40～12:00 (20)	平成 28 年度 放射線安全取扱部会 表彰式 （功勞表彰・放射線安全管理奨励賞）	機器展示 10:30～17:30
12:00～13:30 (90)	昼食休憩（相談コーナー）	ポスター発表 発表者は 12:00 まで貼り終え、 翌日 12:00 まで掲示
13:30～14:30 (60)	特別講演 I 「放射線安全管理行政の動向」 原子力規制庁 核物質・放射線総括審議官 片山 啓氏 座長 井上 浩義氏（慶應義塾大学）	14:40～15:50 ポスター前にて説明
14:30～14:40 (10)	休 憩	小ホールホワイエ
14:40～15:50 (70)	ポスター発表	書籍コーナー 10:30～17:00
15:50～16:00 (10)	休 憩	相談コーナー 12:00～13:30
16:00～17:30 (90)	シンポジウム I 「放射線利用の品質保証制度導入にむけて」 （1）現状調査活動の概要 ニッ川章二氏（日本アイソトープ協会） （2）国内外施設の状況（中間報告） 飯本 武志氏（東京大学） （3）規制当局における検討状況 土居 亮介氏（原子力規制庁） （4）パネル討論 座長 ニッ川章二氏（日本アイソトープ協会）	
18:00～20:00 (120)	交流会	

主任者 コーナー

○ 2 日目 11 月 11 日 (金)

時 間	小ホール	ギャラリー
9:10～	参加受付 (ホール)・開場	クローク 9:10～16:00
9:30～10:40 (70)	(一般公開) 特別セッション 「高校生による放射線研究発表」 東京都立多摩科学技術高校 埼玉県立不動岡高等学校 早稲田大学高等学院 福島県立福島高校 座長 飯塚 裕幸氏 (埼玉医科大学)	機器展示 9:10～14:00 ポスター掲示 9:00～12:00 ※13:00 以降に貼ってあるポスター は実行委員会で処分します。
10:40～10:50 (10)	休 憩	小ホールホワイエ
10:50～11:50 (60)	(一般公開) 特別講演Ⅱ 「113 番新元素 (ニホニウム) の発見」 森本 幸司氏 (理化学研究所) 座長 上 蓑 義朋氏 (理化学研究所)	書籍コーナー 10:00～14:00
11:50～13:00 (70)	昼食休憩	
13:00～14:40 (100)	(一般公開) シンポジウムⅡ 「最先端のガン治療と研究」 宮川 隆氏 (東京大学医学部附属病院) 玉利 祐樹氏 (東京大学医学部附属病院) 中川 恵一氏 (東京大学医学部附属病院) 座長 山下 孝氏 (日本アイソトープ協会)	
14:40～14:50 (10)	休 憩	
14:50～15:10 (20)	私の意見・支部の意見	
15:10～15:30 (20)	大会のまとめ (井上 浩義 関東支部長) 次回大会紹介 (矢鋪 祐司 近畿支部長) 閉 会	

主任者コーナーの編集は、放射線安全取扱部会広報専門委員会が担当しています。

【広報専門委員】

池本祐志 (委員長), 安中博之, 大石晃嗣, 片岡隆浩, 廣田昌大, 藤淵俊王, 宮本昌明, 吉田浩子

ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表 題	氏名(所属)
放射線取扱施設での施設維持管理・運用・リスク	A-1	リニアック更新に伴う放射化物における放射線防護および安全管理	久保誠, 高橋克彦(獨協医科大学), 野村利治(獨協医科大学病院), 川島明美, 清水栄美, 楢靖(獨協医科大学)
	A-2	サイクロトロンによって発生した再利用放射化物の管理	宮司典明, 深井翔平, 茂木一樹, 梅田拓朗, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満(がん研究会有明病院)
	A-3	新しい技術を取り入れた小規模アイソトープ実験施設の施工例	高橋郁子, 平松正行, 植田康次, 岡本誉士典, 奥田知将, 疋田清美, 永松正, 湯川和典(名城大学薬学部), 山崎信明, 片岡雅史(名城大学施設部), 森栄俊, 鈴木宏昌, 服部佳史(日建設計), 針山聡一, 岡田卓也, 藤生一樹(竹中工務店), 中村浩二, 冢田一男(千代田テクノ), 田中利明(ダルトン), 高橋範行(日本アイソトープ協会)
	A-4	RI 施設における地下ピット及び土中埋設排水管の内部点検	吉澤若葉, 宮本大輔(ワカイダ・エンジニアリング), 山本多喜夫(巧喜)
	A-5	届けよう現場の声を ～法律違反は, 7・13(な・いさ)宣言～	五十嵐敏美, 実吉敬二(東京工業大学)
	A-6	公立大学が運営する PBq 級 Co-60 照射施設の品質保証 (1) 照射施設管理の現状と品質保証導入時の課題	小嶋崇夫, 宮丸広幸, 岡本賢一, 谷口良一(大阪府立大学)
	A-7	学内ネットワークを用いた全学放射線管理システム更新と個人管理機能の強化	野矢洋一, 阿保憲史, 安井博宣, 東川桂, 久下裕司(北海道大学アイソトープ総合センター)
	A-8	地方国立大学医学部の RI 施設改修の取り組み	岩崎智之, 佐伯好美, 増田晴造(愛媛大学)
	A-9	放射線施設における管理者意識に関する調査研究	小芝嵩広, 兼古知弥, 高嶋隆太(東京理科大), 飯本武志(東大), 小林祐子, ニッ川章二(日本アイソトープ協会)
	A-10	RI 施設管理の自己点検評価への新しい試み	黒田トクエ, 山下陽子, 桑原知彦, 入倉美奈子, 合田康代, 安井栄梨, 桑原義典, 大谷環樹, 三好弘一(徳島大学)
	A-11	名古屋大学における放射線業務従事者管理—放射線施設を有しない部局の場合—	近藤真理, 小島久, 柴田理尋(名古屋大学 RI センター)
	A-12	非密封放射線施設の有効利用の一例	飯塚裕幸, 宮下由美, 小野啓(埼玉医科大学)
	A-13	貯留槽間を廃水がひとりりで移動する現象における考察と対策	池田岳紡, 青木勝己, 五艘行信, 馬嶋正隆(北里大学医学部)
	A-14	塩化ラジウム (Ra-223) の放射線管理 (測定)	三橋正裕, 助川智之, 安藤智和, 上垣雅貴, 舩山謙哉, 佐々木博之(日本環境調査研究所)
	A-15	10 年経過した施設管理	福島祐司(札幌南三条病院)
教育訓練・啓発活動	B-1	看護学生に対する放射線防護教育の必要性	清水栄美, 高橋克彦(獨協医科大学 RI センター)
	B-2	野菜(ズイキ)で作った自然放射能線源による放射線測定実習	河野孝央(日本遮蔽技研), 安藤佳明, 泉雄一(日本環境調査研究所)
	B-3	放射線取扱主任者試験対策のための大学でのゼミナール授業の試み	藤井健悟, 福田大輔, 塩原良建(明大院理工), 高田進, 加藤明子, 佐藤信吾(放射線管理研究所), 小池裕也(明大理工)
	B-4	コンパクトメントモデルを用いたβ線放出核種の簡易推定法	藤野秀樹(兵庫医療大学)
	B-5	日本アイソトープ協会放射線取扱主任者講習の紹介	中村美和, 関田也寸志, 浅野夏海(日本アイソトープ協会)
分科会・委員会・支部報告	C-1	企画専門委員会の活動紹介	第 29 期放射線安全取扱部会企画専門委員会
	C-2	企画専門委員会の活動—平成 28 年度教育訓練講習会アンケート調査結果とその考察—	第 29 期放射線安全取扱部会企画専門委員会
	C-3	教育訓練検討分科会の報告	小野俊朗(岡山大学), 中西徹(就実大学)
	C-4	PET 施設管理研究会の活動報告	佐々木将博(先端医療センター)
	C-5	安全管理技術継承に役立つ事例報告	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
	C-6	熊本地方地震における放射線施設の状況調査について	放射線安全取扱部会 熊本地方地震調査班
	C-7	近畿支部活動の紹介	放射線安全取扱部会近畿支部
	C-8	平成 29 年度放射線安全取扱部会年次大会お知らせ	放射線安全取扱部会近畿支部
震災・地域貢献・環境放射能・その他	D-1	GPS 運動走行毎秒測定システム (NSGS) の実用評価試験	谷康輔, 中井啓介, 平山貴浩, 河野孝央(日本遮蔽技研), 齊藤雄一郎, 橋内崇(三和製作所)
	D-2	固相抽出法を用いた迅速かつ簡便な環境放射能分析	福田大輔, 塩原良建(明治大院理工), 萩原健太(明治大研究財戦略機構), 小池裕也(明治大理工)
	D-3	食品中自由水のトリチウム汚染に対する実用的な簡便検査法の検討	曾我慶介, 亀井俊之, 最上(西巻)知子, 近藤一成, 蜂須賀暁子(国立医薬品食品衛生研究所)
	D-4	アンフォールディング手法を用いた携帯型ガンマ線スペクトロメーターの開発	東哲史, 林真照, 白附晶英, 西沢博志, 中西正一(三菱電機)
	D-5	放射線施設の施設検査・定期検査等の現状と課題	佐藤信吾, 高田進(放射線管理研究所), 杉山和幸(理化学研究所)
	D-6	短寿命 RI 供給プラットフォームの紹介	中野貴志, 福田光宏, 青井孝, 鈴木智和, 高橋成人(京都府立医大), 酒見泰寛(東大), 羽場宏光, 上垣外修一(理研), 渡部浩司, 伊藤正俊, 菊永英寿(東北大)
	D-7	医療機関で発生したチャコールフィルタ廃棄物及び不燃性放射性廃棄物の合理的な処理方法の検討	角掛雅裕, 土井幸一, 井上元, 草間経二(日本アイソトープ協会)
	D-8	低線量被ばくの評価における小型 OSL 線量計の活用	岡崎徹, 橋詰拓弥(長瀬ランダウア), 林裕見, 三原由樹, 山田健二(徳島大学), 小林育夫(長瀬ランダウア)
	D-9	放射線被ばくに対する生物学的線量評価の有効性の確認と新たな取り組み	門前暁, 千葉満(弘前大学), Luvisa Lundholm, Andrzej Wojcik(ストックホルム大学)
	D-10	2種類の測定が可能な密封線源の開発	青木勝己, 池田岳紡(北里大医), 加藤大河, 齊藤美咲, 小川幸次(北里大医療衛生), 永津弘太郎(量子科学技術研), 野崎正(北里大理工), 佐々木徹(北里大医療衛生)
	D-11	活性炭の放射性ヨウ素吸着能向上に関する基礎的研究	廣田昌大(信州大学), 松垣正吾(東京大学), 伊藤茂樹(熊本大学), 高木思野, 石田善行, 寺尾啓二(シクロケム)
	D-12	医療用 PET サイクロトロンにおける放射化状況調査	柳下俊行, 泉雄一, 松村一博, 大石晃嗣, 佐々木博之, 山谷義幸, 中林貴之(日本環境調査研究所)